

親学習プログラムを活用してみませんか？

ここでは、中学校、高等学校、特別支援学校において、様々な機会に活用できる人気のプログラムを紹介します。進行マニュアルとともに、御覧ください。

テーマ

我が子は思春期真っ只中！ ～思春期の子育ては戸惑いや悩みの連続です～

ねらい

コミュニケーションワークや話し合いをとおして、子どもについての悩みや不安等を共有するとともに、保護者同士のコミュニケーションを深め、学校・家庭が連携して子どもたちの教育に関わるという意識を高める機会とする。

対象・時間

高校生の子どもを持つ保護者（50分）

展開

はじめに ちょっとウォーミングアップ

ワーク1 自己紹介しましょう。

(1) クラス、自分の名前

(2) 私が思春期だった頃

～自分自身の高校時代について話し合いましょう。～

ワーク2 気になっていることはありますか？

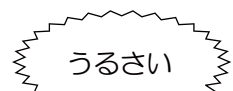


雨だから送って行って！

疲れた・・・



・帰りが遅い！ ・携帯ばかり見て…
・何にも話してくれないんだから…



うるさい



ウザイ

ワーク3 資料「思春期はこんな時期です！」※（P3 参照）を読みましょう。

ワーク4 親の心構えを考えよう！

ふりかえり 今日のワークをとおしてどのようなことを感じましたか。

ワークとは、体験や話し合い、作業などとおして、気づきを促したり、考えを深めたりする活動です。

活用のポイント



◎ワーク4については、親と子の関わりだけでなく、家族間や夫婦間、また、学校や地域との関わりについても広く考えることもできます。

◎自己紹介において「中学校時代」について話し合いをしたり、悩みや不安の例示を工夫したりすれば中学校の保護者対象にも活用できます。